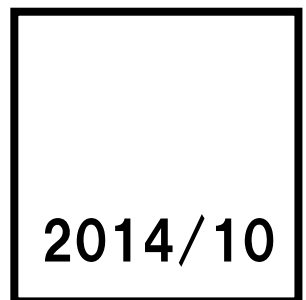




神奈川県立川崎図書館 が所蔵する  
全国有数の〈社史コレクション〉を  
さらに活用していただくため、  
社史の使い方や、社史の楽しさ、  
社史情報などをお届けしていきます。



最近、ご寄贈いただいた社史を見ていたら、外観がピカピカしている社史が目につきました。

まず『福田金属箔工業300年史』（2001年刊行）。1700年に京都で金属箔粉商として創業し、現在は金属粉・金属箔の専門技術を活かした素材・用途の開発などを行っている老舗企業です。さて、この社史ですが、表紙が上品な金色。金箔風にも見えます。装丁にこめた意図の記述は探せませんでした。おそらく会社の歴史・製品を踏まえて、金色が選ばれたのだと思います。

## 金属を用いた社史も発見。

つぎに亜鉛のめっき等をしている『田中亜鉛鍍金百年史』（2008年刊行）。本社は大阪です。こちらは表紙も外函も、まばゆい銀色。めっきの質感が伝わってくるような気がしました。

そんな、きっかけもあり、今回は金属関係で、装丁がメタリック調な社史を紹介することにしました。紙面なので、色合いや質感を伝えるにくいのが残念ですが…。

実は、本物の金属を装丁に用いている社史もあります。

『日本金属工業50年史 付ステンレス鋼技術史』（1982年刊）の表紙には、ステンレス化粧板（カラー印刷）が付けられています。「編纂を終えて」によると、当初から計画していたそうです。緑色の大理石模様を背景にした世界地図をステンレス鋼で浮き出させた図案です。

『日新製鋼新発足十年史』（1969年刊）の表紙には「日新製鋼」の文字のあるステンレスアートが付けられています。「編集後記」によると、当時の会長にお願いして揮毫された文字だとあります。

（裏面に続く）

# メタリック調な社史

(表面から続く)

『白い鋼 日本ステンレス50年史』(1984年刊)の表紙にも、平行四辺形のかたちをした薄い金属が付けられています。「あとがき」には、自社製のステンレス箔と記されています。

『日本製箔株式会社五十年史』(1984年刊)は、表紙に銀色の紙を使っています。奥付の上を見ると「表紙印刷データ」の図があり、「アルミニウム蒸着膜層」など、詳細な断面図が出ていました。こだわりを感じます。

ほかに、装丁に関する記述箇所が探せなかったのですが、あくまで個人的な印象ですが、『錢屋アルミ50年史』は、アルミの質感が出ている表紙でした。日本アルミニウム工業株式会社の『社史 アルミニウム五十五年の歩み』(1957年刊)の表紙の一部にも銀色のシートが貼られていました。『入船鋼材55周年記念誌』(2008年刊)は銀色の表紙に会社のキャラクター(イルフ)がデザインされたものとなっています。

表紙以外の部分だと、『東洋アルミニウム株式会社五十年史』(1982年刊)は、カナダの著名な作家が手掛けた、アルミニウムを鍍金加工した創作品を冒頭で紹介しています。質感を出すための工夫だと思いますが、作品を表したシートの透明な部分の背景にアルミ箔を用いています(文章での説明は難しいので、関心のある方はぜひ現物をご覧ください)。

社史を作るのなら、自社の製品・技術を使ったり、イメージが感じられる装丁にしたいのだと思います。一昔前に比べると、装丁の技術も発達しているようで、こだわりを感ずる外観の社史も増えてきました。社史室で、いろいろな装丁の工夫を楽しんでみてはいかがでしょうかでしょう。

当館でも、数年前まで外函は付けていませんでしたが、最近は、なるべく外函も含めて手にとっていただけのように努めています。

(科学情報課・高田)

## ●2冊だけですが新着社史を紹介

北から南、刊行の新しいものから古いものまで、多くの社史を企業・団体・個人の方々から寄贈していただいています。これからも、ご寄贈をよろしくお願ひします。

書名	会社名	資料番号	刊行年月
ジェクトのあゆみ	ジェクト	81617029	2014/05
川崎市に本社がある建設会社です。川崎組から名称変更してからの20年間の歴史を見やすくまとめています。「オーナー様を訪ねて」や「社長のつれづれ日記」などの章も。			
100年のあゆみ	宮地鐵工所	81616625	2010/10
町工場からスタートし、関門橋や明石海峡大橋など、多くの橋梁などの建設を手がけてきた歴史をまとめています。「橋梁・鉄骨製作技術と架設工法の歩み」の章では各橋梁等の技術も解説。			

## ●お問い合わせ先 神奈川県立川崎図書館 科学情報課

210-0011 川崎市川崎区富士見2-1-4

電話：044-233-4537 FAX：044-210-1146

<http://www.klnet.pref.kanagawa.jp/kawasaki/index.html>